

まちの話題 



有家 自然と遊ぼう2006

4月29日(土)のみどりの日、有家町のありえ依石自然運動公園で「自然と遊ぼう2006」が開催されました。

1989年より始まった「そうめん流し」は、平成8年より「自然と遊ぼう」としてバザーやフィールドアスレチック開放なども加わり、毎年多くの人で賑わっています。今年は新市発足後、最初のそうめん流しイベントということもあり、遠方からの参加も多く、約1,700人の来場者がありました。初夏の陽射しの下、バザー、有家中学校吹奏楽部の演奏、小学生によるチャレンジコーナーなど楽しいイベントに加え、町興しグループ「寄手見遊会」によって3回行われたそうめん流しでは、用意されていた約2,500人分のそうめんもあっという間になくなりました。



▲まってきました～。



▲楽しい遊具がたくさんあります。



▲全長70メートルのそうめん流し



▲おいしいそうめんにっこり



▲名所でのそうめんは格別！



▲出し物も盛りだくさんでした。

西有家 涼しげにそうめんをツルツル。

第38回 西有家戸ノ隅公園滝祭り

大型連休中の5月4日、『第38回西有家戸ノ隅公園滝祭り』が、西有家町長野の戸ノ隅公園広場および滝つぼで開催されました。昭和47年から始まったこの祭りは、もともと地元の議員や有志が、『せっかくすばらしい滝にも恵まれていることであるし、地域の振興に役立てれば。』と企画し長野地区16町内会が役員となり、そうめん業者の協力などにより開催されるようになりました。

今年の内容は、そうめん流し、演芸会(西有家太鼓・舞踊・長野保育園演芸・カラオケ大会)町内対抗パットゴルフ、くじ引き、幸運の福引き抽選会など楽しさ満載でした。

祭りの実行委員長である井上福嬉さんは『8町合併後、南島原市として初めての開催ですが、今後も全市的なお祭りとしてずっと続けていきたい。』と今後の意欲もみせられました。

またこの日は絶好の行楽日和という事もあり、市内外から多くの行楽客で賑わいました。



国際交流員 林 煒莉さんが着任しました。

北有馬 林 煒莉さん (中国・福建省出身 22歳)

大学を卒業後、同省蒲田学院で日本語教師として勤務されていました。今回、北有馬町が中国福建省羅源県と友好交流を推進していることから、9代目の国際交流員として初来日され、約1年間、北有馬総合支所に勤務されます。4月17日、着任の挨拶のため南島原市役所を訪れた林さんに、元山市長職務執行者は、「南島原市は8つの町が合併によりひとつの新しい市となりました。たくさんの人たちとふれあい、また色々な話を聞く事で、それぞれの町の特色や、日本の文化や歴史を吸収し勉強してください。」と激励しました。林さんは「中国の人たちはとても日本に興味を持っています。私は日本の方に中国のことをたくさん知ってほしいし、中国の人たちにもっとたくさん日本のことを伝えたいです。身近な経験から勉強したことを中国で活かしたい」と抱負を語りました。



林 煒莉さん (中国・福建省出身 22歳)

- 趣味は…卓球・パドミントン・水泳
- 特技は…書道・篆刻(てんこく)  
※篆刻とは木・石などの印材に文字を彫ること。
- 好きな日本食は…刺身・寿司・てんぷら(なんでも好き！)

受章おめでとうございます

春の叙勲

—敬称略—

【運輸行政事務功労】  
☆瑞宝小綬章  
元口之津海員学校長  
佐々木俊次 (71歳 口之津町)

【更生保護功労】  
☆瑞宝双光章  
保護司  
田口 淑郎 (74歳 口之津町)

【社会福祉功労】  
☆瑞宝単光章  
元民生・児童委員  
高見 淳一 (72歳 加津佐町)

【消防功労】  
☆瑞宝単光章  
元加津佐町消防団副団長  
松田 功 (71歳 加津佐町)

